
■■■日本世代間交流協会ニュースレター 2014年4月号■■■

葉桜の緑があざやかな季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。3ヶ月に一度の定期刊行のニュースレター、4月号をお送りします。

【目次】

1. 活動報告
2. 活動予定
3. 出版物の案内
4. 「会員の声」
5. 「会員の声」募集
6. 次号（7月）の予定

【1 活動報告】

■世代間交流勉強会■

2014年2月21日、白梅学園大学と地域の住民が共同で運営する「ほっとスペースさつき」で世代間交流に関わる勉強会が行われ、当協会の柿沼幸雄理事が講師として「多世代間交流がもたらす効果と地域の居場所」というテーマで講演されました。ほっとスペースさつきは、白梅学園大学が地元のNPO、町内会などに呼び掛けて昨年3月に発足した「小平西地区ネットワーク」がきっかけとなって誕生したコミュニティ・サロンで、今回は第3回目の勉強会。さつきの関係者・利用者に加え、小平市議、民生委員、自治会長など30名を超える参加者のなかで、世代間交流についての活発な意見交換が行われました。（文責 柿沼幸雄）

小平西ネット <http://daigaku.shiraume.ac.jp/nishinet/>

ほっとスペースさつき <http://www.chokai.info/areanews/020636.php>

■ 台湾への世代間交流スタディ・ツアー ■

3月7日、8日、台湾台北市で開催された“Toward an Intergenerational Solidarity Aged Society:2014 Intergenerational Conference of Elder Education and Intergenerational Learning”

にて、日本の世代間連携や生涯学習に関する実践と研究について講演をさせていただきました。また、このイベントに合わせて開催された台湾世代間交流スタディーツアー(National Taichung Univ. of Education, Nike Liu 教授主催)では、台湾における世代間交流の実践現場を視察しました。



はじめに、カンファレンスでは台湾全土から600人を超える参加者が2日間にわたり世界の様々な実践や研究報告に熱心に耳を傾けている様子に感銘を受けました。それぞれの講演に対する質問の数や内容いずれも台湾の高齢者学習への取り組みへの情熱と質の高さを感じさせるものでした。政府、大学、地域の施設職員などの実践者が一体となって、「楽齢」という言葉が使われているように、高齢者が幸せに年齢を重ね、学び、尊敬されながら地域で活躍することを目指しています。世代間については、政府によるガイドラインもあり、積極的な取組が見られます。



3月7日～12日実施された世代間交流ツアーは、米国、日本、香港、シンガポールなどから12人の参加者があり、様々な世代間交流現場の視察などが行われました。老人ホームの入居者による世代間交流活動は、高齢者が子どもたちに披露する日本と全く同じ昔遊びの数々に、台湾と日本が共有する歴史や文化を感じました。また、小学校での昔の歴史を高齢者から学ぶHistory Aliveは、授業での子ども達と高齢者の活発なやりとりが印象的で、プログラムの運営やスタッフの育成に関して台湾の財団がとても積極的に支援をしていることから、世代間交流活動の質の高さを感じました。実践面では台湾には様々な進んだ取組があり、日本が学ぶべきことが多いと思います。また、評価や研究では日本が台湾と共有できる点も多く、今後、世代間交流のテーマにおいては両国の交流がもっと深められる可能性を感じました。(文責 倉岡正高)



■ 日本発達心理学会 第25回大会ラウンド・テーブル ■

地域高齢者ボランティアによる読み聞かせ(シニアの絵本読み聞かせボランティア.りぷりんと)、預かり保育(京都市の高齢者ボランティア活動)、実母と非血縁者の協働による子育て(沖縄の「守姉」風習、子育て支援者と親との関係)など、様々な世代間交流を作り出す仕組みについての事例が報告されました。フロアを交えたディスカッションでは、多世代間の協働モデルを構築する上でより具体的な仕掛けづくりの方略に関して議論が深められました。

(文責 高橋知也)

タイトル：異世代間の関係を構築する (2)

-子育て支援につなげるための関係性概念の検討-

話題提供者：加藤 邦子 (宇都宮共和大学子ども生活学部)

諏澤 宏恵 (奈良女子大学人間文化研究科)

近藤 清美 (北海道医療大学心理科学部)

藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所)

指定討論者：牧野 カツコ (宇都宮共和大学子ども生活学部)

■ JIUA ワークショップ開催 ■

11月1日(金)にハワイのシャムナダ大学メイ・メンダーソン先生によるワークショップが、東京都健康長寿医療センター研究所において開催されました。

ハワイにおける「アクティブ・エイジング」を目指した「世代間交流プログラム」の実践、米国におけるエイジズムと上手な年の取り方、そしてAge Friendly City などについてご講演されました。その後は、”Global Age Watch Index”のパワーポイントに基づいた世界各国における平均寿命や、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)など、世界各国における福祉や医療制度についても議論が及びました。米国およびハワイそして世界各国における世代間交流プログラムの実践は、日本におけるプログラムの進展を考える上で非常に有用な議論となりました。

【2 活動予定】

■ 日本世代間交流学会誌 Vo14. 編集委員会より ■

日本世代間交流学会誌 Vo14. の刊行に向けて、投稿者の皆様にご提出いただいた原稿の査読作業を行っております。

詳細は、下記の HP をご覧下さい。

⇒ <http://www.jsis.jp/journal.html>

【3 出版物の案内】

当協会の会員を中心に執筆が進んでいた書籍が、ついに刊行されました！

■ 『世代間交流—老いも若きも子供も—』第13号、特定非営利活動法人日本世代間交流協会第6号 の発行 ■

当協会の定期刊行物であるこの機関誌は、国立国会図書館の定期刊行物の指定を受けております。

大変遅くなりましたが、お手元に『世代間交流—老いも若きも子供も—』第13号が、届いたものと思います。届いていない方は、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

■ 地域を元気にする世代間交流 ■

倉岡正高 編著 草野篤子、藤原佳典、杉啓以子ほか著

公益財団法人社会教育協会、4月中旬発行 (900円)

世代間交流の意義、研究方法および実践事例について、分かりやすく解説した入門書となっております。世代間交流の研究者や実践家がそれぞれ豊富な経験と蓄積された研究成果をもとに執筆いたしました。なるべく多くの方に読んで頂きたい1冊です。

■ 『世代間交流の理論と実践』(仮) ■

草野篤子・内田勇人・溝邊和也・山之口俊子・安永正史 編著

『世代間交流の理論と実践(仮)』(三学出版)の刊行に向けて、編集作業を進めております。進捗状況については、追って本ニューズレターにてご報告いたします。

【4 「会員の声」】

「会員の声」ということで、皆さまにご応募を呼びかけています。皆様のご意見や体験談をニュースレターに掲載したいと思っておりますので、世代間交流について思うこと、当協会について感じることなど、ご意見を以下のアドレスにお寄せ下さい。

[yhoyho05\[at\]tmig.or.jp](mailto:yhoyho05[at]tmig.or.jp) ([at]を@に変更してください)

今回は「日本世代間交流学会誌 Vol14. 編集委員会より」です。

日本世代間交流学会誌 Vol14 の発行に向けて、本年も多くの会員の方々からご投稿いただき、編集に携わる者としてたいへん感謝をいたしております。あわせて、年度末のお忙しい中、投稿論文の査読にご協力くださった多くの先生方には厚くお礼を申し上げます。

本雑誌の投稿論文は、通常1本の論文に対して2名の先生方に無償で査読のご依頼をしております。しかしながら、「世代間交流」を専門にご研究されている先生自体がそれほど多くいないため、1人の先生が2～3本の査読を引き受けられる場合も多々あります。

そのため、査読者の先生方のご負担を少しでも軽減するためにも、論文の形式や引用文献等については十分に見直された上でご投稿されますよう、ご理解とご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

【5 その他】

「会員の声」ということで、皆さまにご応募を呼びかけています。皆様のご意見や体験談・エッセー・詩・俳句などを、ニュースレターに掲載したいと思っておりますので、世代間交流について思うこと、当協会について感じることなど、どのようなことでも結構ですので、ご意見を以下のアドレスにお寄せ下さい。
本号では協会員の方々の協力のもとで、世代間交流に関する学会や勉強会などのレポートや感想を収集することができました。心より感謝申しあげます。今後ともご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【6 次号（7月）の予定】

1. 活動報告

2. 活動予定
3. 会員の声
4. その他

【編集後記】

今月のニュースレターは、いかがでしたでしょうか。
次号も、どうぞよろしく願いいたします。

ご返信は、[yhoyho05\[at\]tmig.or.jp](mailto:yhoyho05[at]tmig.or.jp) ([at]を@に変更してください) をお願いします